



令和4年度

松浪小だより

第11号

学校教育目標……『豊かな心を持ち、自律して行動できる子』を育む学校

目指す子ども像…『・進んであいさつする子・自ら学び、自分の考えが言える子・人の話が聞ける子
・元気よく友だちと遊ぶ子・進んで仕事をする子』

理想とする学校像……「共に学び 共に歩み 共に創る」

- ①児童や教職員が生き生きする学校
- ②保護者や地域から信頼される学校
- ③教職員が互いに研ぎ合う学校

令和4年11月30日(水)発行

茅ヶ崎市立松浪小学校 校長 安倍 武雄

遊ぶこと



11月16日、秋晴れの小春日和の中、1年生と一緒にバス遠足に行ってきました。里山公園と大磯でのミカン狩りというなかなかワクワクする企画です。

里山公園は秋真っ盛り。色とりどりの落ち葉のじゅうたん、帽子をかぶったどんぐりなどワクワクするものがいっぱいです。ご存じのとおり、里山公園には大きくて長いローラー滑り台も、トランポリンもあります（現在は修理中）。1年生の担任たちはここで一工夫です。遊具も使わせなければ、ボールや縄跳びなど遊ぶ道具も持た

せませんでした。

「遊んでおいで！先生が見えるところまでね！」と声をかけると子供たちは「わーい」「やったぁ」と意味もなく走り出します。しばらくすると、「つままない」「やることないよ」と戻ってきますが、「あっちにどんぐり落ちてるよ」「見せて」「帽子かぶってるのかわいいね」「これさ、中どうなってるんだろう」「種が入ってるんだよ」「踏みつぶせばわかるかなぁ」「やってみよう！」…とだんだん情報交換が始まります。



「キャンプの時はたきびするからね」と枯れ枝を並べ始める子、いっぱい集まったどんぐりを並べて「ハートにしたい」とあっちからもこっちからも手を出しながらやっこのことで完成させる女の子のグループ、斜面を鉛筆のようにコロコロ転がりながら、ゲラゲラ



笑っているグループ、落ち葉をたくさん集めて空に放り投げてキラキラの日差しを楽しむグループ…。興味はうつろいつつ、新しい遊びが生まれては消え、発展するもの、すぐに消えるものがあるけれど、子供たちは秋を満喫し十分楽しむことができました。

そりゃあ滑り台もトランポリンも楽しいけれど、何もなくてもそこにあるもので十分楽しい時間を過ごせるのだということに子供たちが気付くことができたのではないのでしょうか。そして何より、その楽しい時間は誰かに与えられたものではなく、間違いなく自分たちで作



ったということに自信をもってもらいたいですね。

もちろん、この後のミカン狩りも十分楽しんできました。太陽をたっぷり浴びたつやつやした採れたてのミカンも、これまた自分自身の手で手に入れたものでした。甘酸っぱいけれど味の濃いミカンに舌鼓を打った子供たちでした。

辻堂海浜公園で植栽



11月10日には、2年生が辻堂海浜公園までパンジーの植栽にってきました。2年生の子供たちにとって海浜公園まではなかなかの長い道です。途中、カニ公園で休憩を入れながら、がんばって歩きとおしました。

この苗を育てたのは藤沢市の若手農家の方々。「心を込めて大切に育てました。みなさんが優しい気持ちで植えてくれると、きっと素敵な花が咲きますよ。」というお話をいただいた子供たちはやる気満々。おうちから持ってきた移植ごてをふるって、「もう20こ植えた！」と楽しそうに報告してくれました。



松浪小学校がこの活動を始めて3年が経ちました。もうすぐこの学校の全員が経験することになります。学校にとってこれがサステイナブルなのだと思います。

「私が子供のころもやっていたわ」なんていうお話が聞かれることを祈っています。

27日の日曜日の様子です。植えた時よりもちょっぴり大きくなって2年生の願いが少しずつ叶いつつあります。家族連れが花を眺めながら目を細めていました。みなさんも行ってみては？

